

平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年2月5日

上場会社名 株式会社ナガホリ 上場取引所 東  
 コード番号 8139 URL http://www.nagahori.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長堀 慶太  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田端 馨 TEL 03-3832-8266  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,658	8.2	47	—	53	—	△184	—
27年3月期第3四半期	15,395	△3.7	△54	—	△42	—	44	△88.7

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 △187百万円 (—%) 27年3月期第3四半期 118百万円 (△74.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	△12.06	—
27年3月期第3四半期	2.92	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	27,243	14,041	51.5	915.62
27年3月期	25,132	14,382	57.2	937.84

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 14,041百万円 27年3月期 14,382百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,800	2.8	400	—	350	—	165	375.9	10.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期3Q	16,773,376株	27年3月期	16,773,376株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	1,437,733株	27年3月期	1,437,723株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期3Q	15,335,647株	27年3月期3Q	15,335,728株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において四半期財務諸表に対するレビュー手続が進行中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間のわが国経済は、政府の経済政策を背景として一部の企業における収益向上及び雇用情勢の穏やかな回復基調が続いているものの、中国経済の減速や国際情勢不安による世界経済の下振れ等により引き続き先行き不透明な状況で推移致しました。

ジュエリー業界におきましても個人消費は、実質所得の低下等により節約志向は依然として根強く、全般的に厳しく不安定な状況で推移しております。

このような状況のもと当社グループは、2015年4月より「New Stage 58」をスタートさせ、既存販売チャネルの事業規模拡大による事業収益力を強化し、企業グループとしての顧客満足度の高い商品やブランド商品の開発と提案に精励し、消費者及び取引先からの高い信頼を得るべく、積極的な営業活動を展開し、コスト削減の徹底を図り業績向上に努め、クリスマス商戦に向けた取り組みを行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、166億58百万円（前年同期比8.2%増加）、営業利益47百万円（前年同期 営業損失54百万円）、経常利益53百万円（前年同期 経常損失42百万円）、本社ビル建替えに伴う固定資産除売却損2億円を特別損失に計上したことにより親会社株主に帰属する四半期純損失1億84百万円（前年同期 親会社株主に帰属する四半期純利益44百万円）となりました。

セグメント別に見ますと、宝飾事業の売上高は164億27百万円（前年同期は151億33百万円で12億93百万円の増加）、貸ビル事業の売上高は33百万円（前年同期は32百万円で0百万円の増加）、健康産業事業の売上高は、1億56百万円（前年同期は1億88百万円で31百万円の減少）、太陽光発電事業の売上高は、41百万円（前年同期は40百万円で0百万円の増加）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、272億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ21億11百万円の増加となりました。

流動資産は14億97百万円増加し、186億90百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金増加7億5百万円、商品及び製品の増加4億70百万円、現金及び預金の増加4億20百万円によります。

固定資産は6億13百万円増加し、85億53百万円となりました。これは建物及び構築物(純額)の増加11億87百万円、一方、建設仮勘定の減少6億97百万円によります。

## (負債)

負債は132億2百万円となり、前連結会計年度末に比べ24億52百万円の増加となりました。

流動負債は110億27百万円となり、前連結会計年度末に比べ16億31百万円の増加となりました。これは短期借入金の増加7億71百万円、支払手形及び買掛金の増加5億84百万円、賞与引当金の減少46百万円によります。

固定負債は8億20百万円増加し、21億75百万円となりました。これは長期借入金の増加8億1百万円、役員退職慰労引当金の増加12百万円によります。

## (純資産)

純資産は前連結会計年度末に比べ3億40百万円減少し、140億41百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定会社の異動には該当いたしません。当社は平成27年11月1日をもって当社の連結子会社であるロイヤル・アッシャー・ジャパン株式会社を吸収合併いたしました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### 会計方針の変更

#### (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純損失等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,449,498	1,870,477
受取手形及び売掛金	2,360,004	3,065,580
商品及び製品	12,011,136	12,482,058
仕掛品	202,023	228,519
原材料及び貯蔵品	709,034	670,229
繰延税金資産	208,859	163,802
その他	282,241	239,929
貸倒引当金	△29,546	△29,646
流動資産合計	17,193,250	18,690,950
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	873,903	2,061,247
機械装置及び運搬具(純額)	312,445	301,527
土地	3,495,682	3,495,803
建設仮勘定	711,754	14,143
その他(純額)	310,220	341,409
有形固定資産合計	5,704,005	6,214,130
無形固定資産	96,950	66,478
投資その他の資産		
投資有価証券	919,554	920,199
長期貸付金	235,208	237,958
繰延税金資産	52,959	135,736
その他	1,185,933	1,235,842
貸倒引当金	△255,284	△257,332
投資その他の資産合計	2,138,371	2,272,405
固定資産合計	7,939,327	8,553,014
資産合計	25,132,578	27,243,965

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,539,343	2,123,476
短期借入金	7,126,319	7,898,200
1年内返済予定の長期借入金	162,352	200,086
未払法人税等	35,500	81,515
賞与引当金	124,335	78,216
役員賞与引当金	1,600	4,050
その他	405,731	641,551
流動負債合計	9,395,182	11,027,096
固定負債		
長期借入金	364,854	1,166,252
退職給付に係る負債	523,298	532,440
役員退職慰労引当金	149,193	162,046
再評価に係る繰延税金負債	51,584	51,457
その他	266,075	263,016
固定負債合計	1,355,006	2,175,212
負債合計	10,750,188	13,202,308
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,323,965	5,323,965
資本剰余金	6,275,173	6,275,173
利益剰余金	3,944,479	3,606,165
自己株式	△481,403	△481,405
株主資本合計	15,062,215	14,723,898
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	131,440	129,358
土地再評価差額金	△856,357	△856,230
為替換算調整勘定	45,090	44,628
その他の包括利益累計額合計	△679,825	△682,242
純資産合計	14,382,389	14,041,656
負債純資産合計	25,132,578	27,243,965

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	15,395,701	16,658,845
売上原価	10,469,013	11,528,668
売上総利益	4,926,687	5,130,177
販売費及び一般管理費	4,981,535	5,082,798
営業利益又は営業損失(△)	△54,847	47,378
営業外収益		
受取利息	886	747
受取配当金	25,875	23,795
為替差益	22,392	16,856
その他	42,216	41,596
営業外収益合計	91,370	82,995
営業外費用		
支払利息	59,364	62,092
手形売却損	8,413	8,286
その他	11,140	6,893
営業外費用合計	78,918	77,272
経常利益又は経常損失(△)	△42,394	53,101
特別利益		
投資有価証券売却益	26,462	34,686
負ののれん発生益	65,641	—
固定資産売却益	1,311	—
特別利益合計	93,415	34,686
特別損失		
固定資産除売却損	90	200,371
その他	128	2,032
特別損失合計	219	202,404
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	50,801	△114,616
法人税、住民税及び事業税	61,939	106,560
法人税等調整額	△55,969	△36,219
法人税等合計	5,970	70,341
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,830	△184,957
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	44,830	△184,957



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	44,830	△184,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	72,267	△2,082
土地再評価差額金		127
為替換算調整勘定	1,158	△462
その他の包括利益合計	73,425	△2,416
四半期包括利益	118,256	△187,374
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	118,256	△187,374

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	健康産業事業	太陽光発電事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	15,133,755	32,231	188,950	40,764	15,395,701	—	15,395,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,446	—	—	4,446	△4,446	—
計	15,133,755	36,677	188,950	40,764	15,400,147	△4,446	15,395,701
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△87,087	16,976	△8,088	23,352	△54,847	—	△54,847

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとに固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

宝飾事業セグメントにおいて、株式会社仲庭時計店の全株式を取得したことに伴い、負ののれん発生益65,641千円を計上しております。

なお、当該事象による負ののれん発生益の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては65,641千円です。

## II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	宝飾事業	貸ビル事業	健康産業事業	太陽光発電事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	16,427,635	33,077	156,955	41,177	16,658,845	—	16,658,845
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6,572	—	—	6,572	△6,572	—
計	16,427,635	39,649	156,955	41,177	16,665,418	△6,572	16,658,845
セグメント利益又は セグメント損失(△)	20,214	22,608	△19,359	23,914	47,378	—	47,378

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとに固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 3. 報告セグメントの変更に関する事項

前連結会計年度末より、従来「その他」としておりました「太陽光発電事業」につきましては、量的な重要性が増したため報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、第3四半期連結累計期間の比較情報として開示した前第3四半期連結累計期間のセグメント情報につきましては、変更後の報告セグメントにより作成しており、前連結会計年度の第3四半期連結累計期間に開示した報告セグメントとの間に相違が見られます。